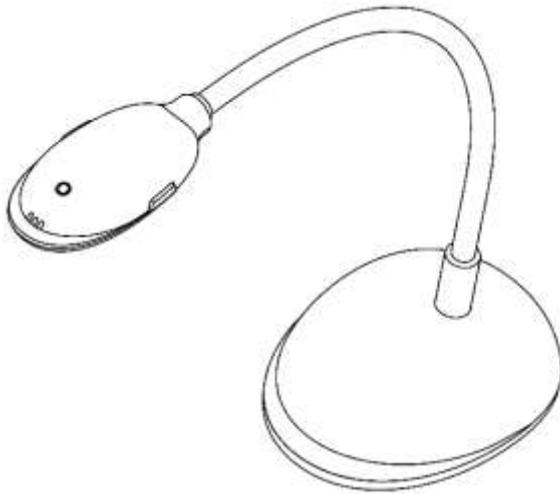


DC120 ビジュアルプレゼンター

ユーザーマニュアル



[重要]

Lumens の Web サイト：
<http://www.lumens.com.tw/goto.htm> にアクセスして、最新のソフトウェア、ドライバ、およびドキュメントをダウンロードしてください

目次

著作権情報.....	4
第 1 章 安全上の指示.....	5
安全のための注意事項.....	6
FCC 警告.....	6
EN55022 (CE 放射)警告.....	6
改訂.....	7
第 2 章 パッケージ内容.....	8
第 3 章 製品概要.....	9
3.1 相対的な操作位置.....	10
3.2 推奨距離.....	10
3.3 不適切な使用.....	11
第 4 章 設置と接続.....	12
4.1 システム図.....	12
4.2 コンピュータへの接続.....	12
4.3 インタラクティブホワイトボードへの接続(IWB).....	12
4.4 DC120 の取り付け.....	13
4.5 アプリケーションソフトウェアのインストール.....	13
第 5 章 使用の開始.....	19
第 6 章 機能メニュー.....	20
6.1 WINDOWS の場合.....	20
6.1.1 メイン機能メニュー.....	20
6.1.2 アノテーションツール.....	21
6.1.3 カメラ設定イン.....	22
6.1.4 オプション.....	23
6.1.5 低速度撮影.....	24
6.2 MAC の場合.....	25
6.2.1 ソフトウェア画面の概要.....	25

6.2.2	サムネイル	26
6.2.3	メイン機能メニュー	27
6.2.4	アノテーション	28
6.2.5	カメラ設定イン	29
6.2.6	オプション	30
6.2.7	低速度撮影	31
第7章	主要機能の説明— Windows の場合	32
7.1	ライブ画像を表示したい	32
7.2	画像を最適化したい	32
7.3	オートフォーカスを使用したい	32
7.4	輝度を調節したい	32
7.5	ランプをオン/オフしたい	32
7.6	ズームイン/ズームアウトしたい	32
7.7	画像をキャプチャしたい	32
7.8	ビデオを録画したい	33
7.9	タイマーを設定したい	34
7.10	画像をフリーズしたい	34
7.11	ライブ画像をアノテーションしたい	35
7.12	ライブ画像にテキストを追加したい	36
7.13	他のアプリケーションとの連携動作	37
第8章	主要機能の説明— MAC の場合	40
8.1	ライブ画像を表示したい	40
8.2	画像を最適化したい	40
8.3	オートフォーカスを使用したい	40
8.4	輝度を調節したい	40
8.5	ランプをオン/オフしたい	40
8.6	ズームイン/ズームアウトしたい	40
8.7	画像をキャプチャしたい	41
8.8	画像を継続的にキャプチャしたい	41
8.9	ライブ画像をフリーズしたい	41
8.10	表示された画像をアノテーションしたい	41
8.11	文字によるアノテーションを画像に追加したい	43

8.12	ビデオを録画したい.....	44
8.13	マスクモードを使用したい.....	44
8.14	スポットライトモードを使用したい.....	45
8.15	保存されたファイルを管理したい.....	45
第 9 章	顕微鏡との接続.....	48
第 10 章	トラブルシューティング.....	49

著作権情報

Copyrights © Lumens Digital Optics Inc.、全権留保。

Lumens は、Lumens Digital Optics Inc.の登録商標です。

Lumens Digital Optics Inc.からの授権がない限り、製品購入後のバックアップの目的以外、このファイルを複写、複製または転送することが禁止されます。

製品を改良し続けるために、Lumens Digital Optics Inc.は事前の通知なしに製品仕様を変更する権利を留保します。このファイルの情報は事前の通知なしに変更される場合があります。

この製品の用法を完全に説明または記述するために、本マニュアルには他の製品名または会社名に言及する場合があります。その場合、いかなる権利侵害の意図もありません。

保証の免責事項:Lumens Digital Optics Inc.は、発生しうるいかなる技術的な編集上の誤りまたは脱落に対する責任も負わず、また、このファイル提供あるいはこの製品の使用または操作から生じるいかなる偶発的または関連する損傷に対しても責任を負いません。

第 1 章 安全上の指示

ビジュアルプレゼンターの設定および使用時には、常に以下の安全指示事項に従ってください。

1. 傾斜した場所にビジュアルプレゼンターを置かないでください。
2. ビジュアルプレゼンターを不安定な台車、スタンドまたはテーブルの上に置かないでください。
3. ビジュアルプレゼンターを水または熱源の近くで使用しないでください。
4. アタッチメントは推奨する方法でのみ使用してください。
5. ビジュアルプレゼンター上に記載してある電源タイプを使用してください。使用可能な電源のタイプが分からない場合は、ディーラーまたは最寄の電気会社に相談してください。
6. 簡単に電源プラグがはずせる位置にビジュアルプレゼンターを置きます。
7. プラグを扱うときは常に以下の安全上の注意事項に従ってください。注意に従わないと火花が散ったり火災が発生する恐れがあります。
 - プラグをソケットに挿す前に埃が付着していないことを確認してください。
 - プラグがソケットにしっかりと挿入されていることを確認してください。
8. 壁コンセント、延長コードまたはマルチウェイプラグボードに負荷を掛けすぎないようにしてください。負荷を掛けすぎると火災または感電の原因になる場合があります。
9. コードを踏むような場所にビジュアルプレゼンターを置かないでください。コードまたはプラグが擦り切れたり損傷する可能性があります。
10. 洗浄する前には壁コンセントからプロジェクターの電源プラグを外してください。洗浄には湿った布を使用してください。液体やエアゾール洗剤は使用しないでください。
11. プロジェクターのカバーにあるスロットと開口部を塞がないでください。スロットや開口部は換気の役割をし、ビジュアルプレゼンターの過熱を防止します。ソファやカーペットまたはその他の表面が柔らかい物の上にビジュアルプレゼンターを置いたり、換気が不十分な場合には内蔵する形式の設備内に設置しないでください。
12. キャビネットのスロットにどんな種類の物も押し込まないでください。ビジュアルプレゼンターの内部にどんな種類の液体もこぼさないでください。
13. このユーザーマニュアルで具体的に指示している場合を除き、自分でこの製品を修理しようとしないでください。カバーを開けたり外したりすると、危険な電圧やその他の危険に晒される恐れがあります。修理はすべて資格のある修理担当者にお任せください。
14. 雷が鳴っているとき、または長期間使用しない場合は、ビジュアルプレゼンターの電源プラグを抜いてください。ビジュアルプレゼンターまたはリモコンを車など、熱を発生する機器または熱くなっている物体の上に置かないでください。
15. 以下に記載した状況が発生したときは、ビジュアルプレゼンターの電源プラグを壁コンセントから抜いて、資格を持った修理担当者に修理を依頼してください。
 - 電源コードまたはプラグが損傷しているか擦り切れている場合。
 - 液体が内部にこぼれた場合、またはビジュアルプレゼンターが雨または水に晒された場合。

■ 安全のための注意事項

警告：火災または感電の危険を減らすために、この装置を雨または湿気に晒さないでください。

	注 感電の危険性		
注：感電の危険を減らすために、カバー(または後部パネル)を外さないでください。機器の内部にはユーザーが修理できる部品はありません。修理は資格のある修理担当者にお任せください。			
	このシンボルは、この装置には感電を引き起こす可能性のある危険な電圧が使用されることを示しています。		このシンボルは、本ユニットに対するこのユーザーマニュアルに重要な操作およびメンテナンス手順が含まれていることを示しています。

■ FCC 警告

この装置は、FCC 規則のパート 15 に基づいてテストされ、クラス B デジタル機器に関する制限に準拠することが認められています。これらの制限は、住宅に設置する際に有害な電波障害から適切に保護することを目的としています。

■ EN55022 (CE 放射)警告

この製品は、商業、工業、または教育的環境において使用するよう設計されています。住宅向けには設計されていません。

この装置はクラス A 製品です。室内環境で、この製品は電波障害を引き起こすことがあります。そのようなケースでは、ユーザーが適切な対策を実施しなければならないことがあります。一般的には、会議室、ミーティングルームまたはホールで使用されます。

第 2 章 パッケージ内容

DC120



クイックスタートガイド
(他の言語バージョンをダウンロードするには、Lumens
のウェブページにアクセスし
てください)



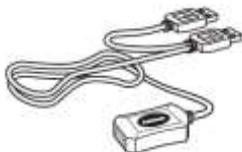
USB ケーブル



キャリーバッグ(オプション)



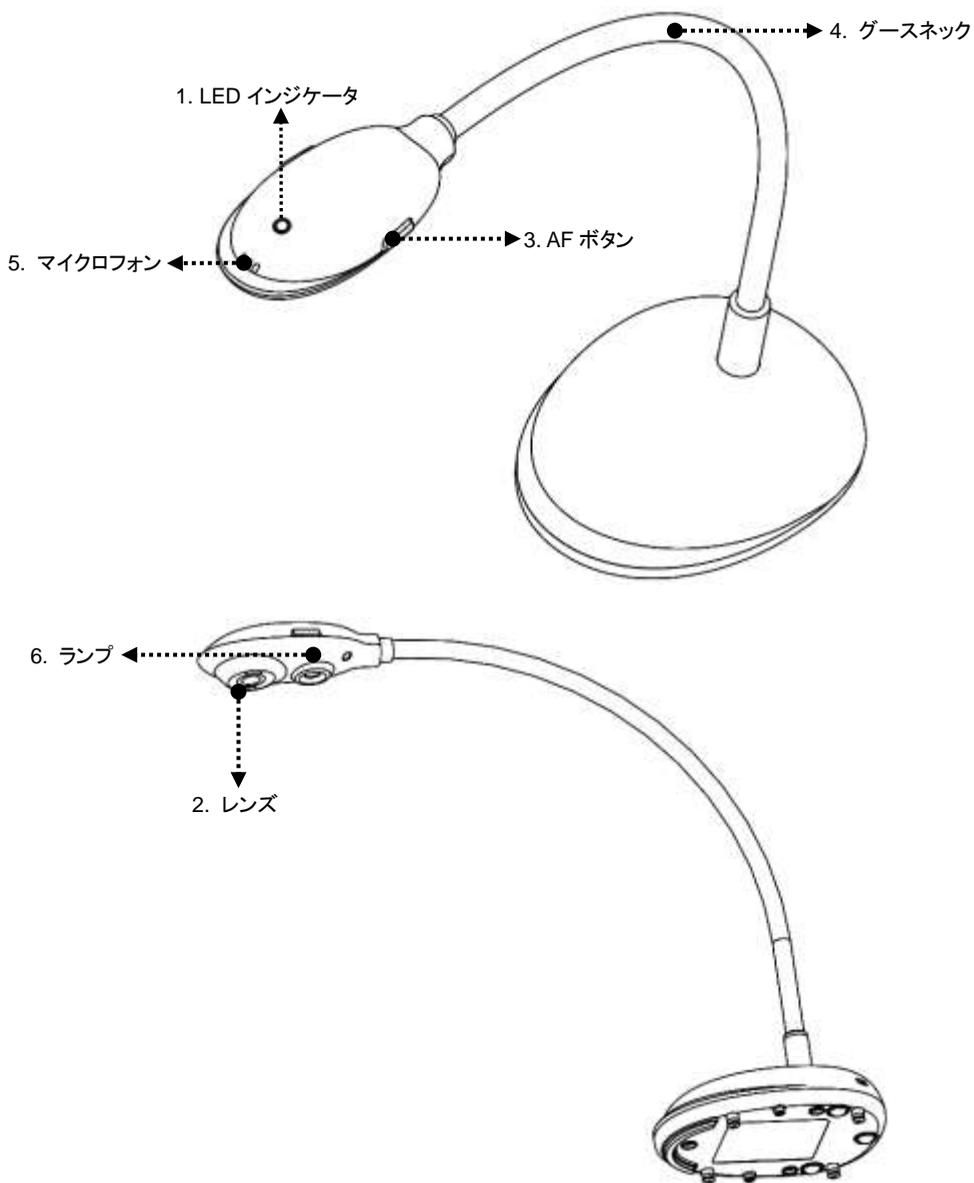
拡張 USB ケーブル
(オプション)



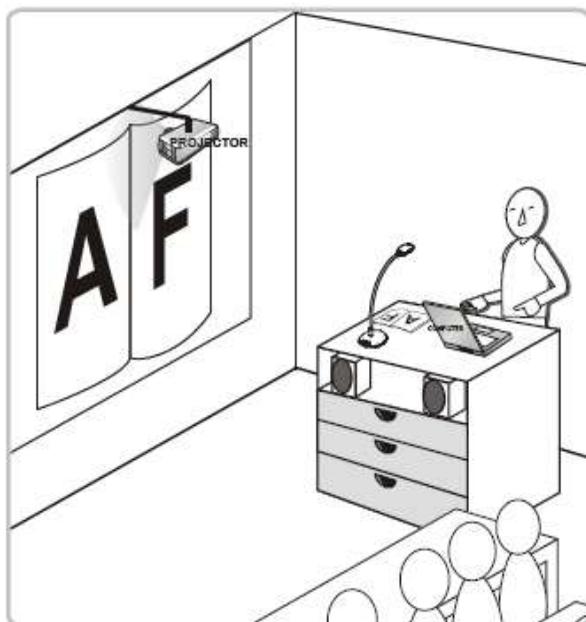
顕微鏡アダプタ(オプション)



第3章 製品概要

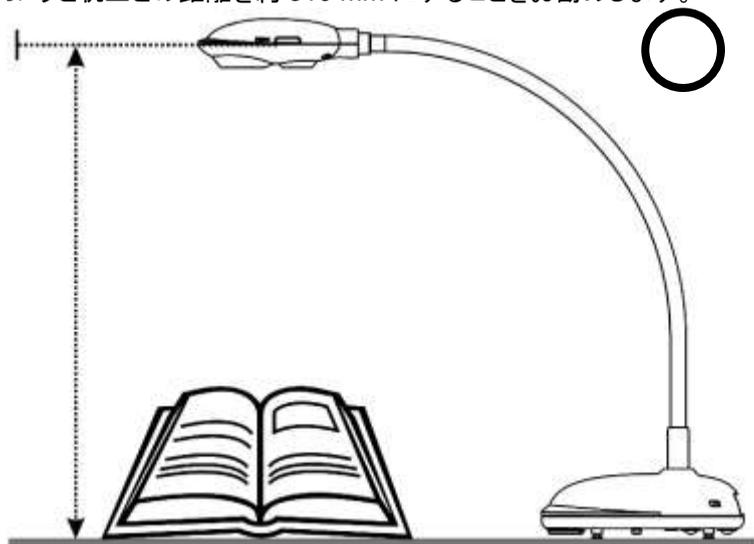


3.1 相対的な操作位置

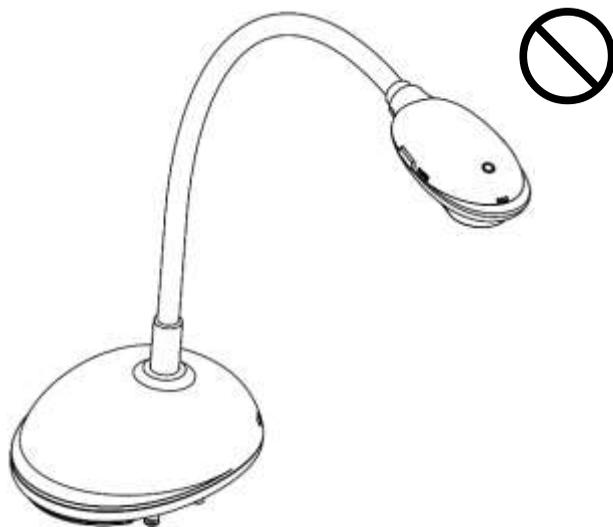


3.2 推奨距離

* カメラと机上との距離を約 310 mm にすることをお勧めします。



3.3 不適切な使用



第 4 章 設置と接続

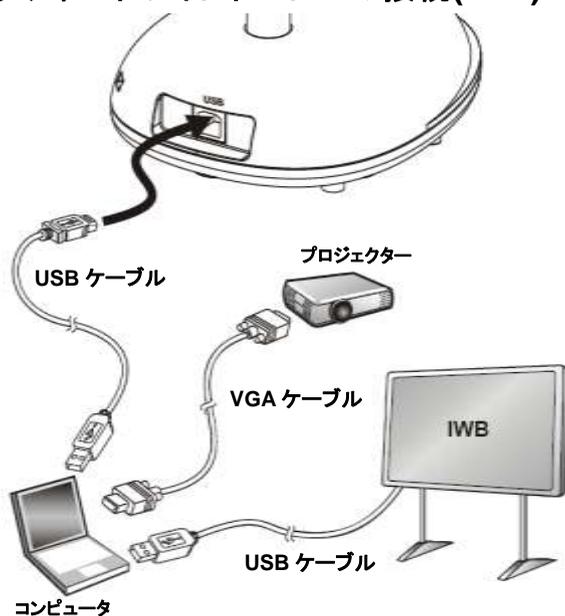
4.1 システム図



4.2 コンピュータへの接続

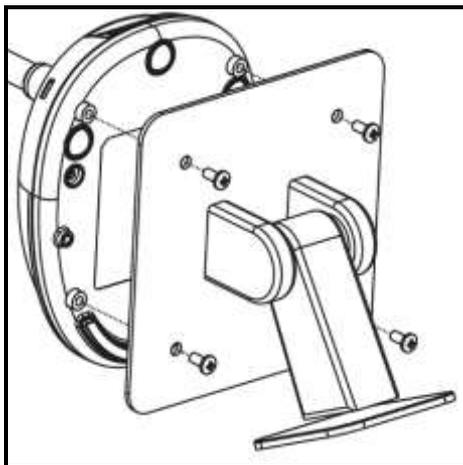
➤ 上図に示すとおりです。

4.3 インタラクティブホワイトボードへの接続(IWB)



4.4 DC120 の取り付け

1. 標準 VESA 設置用ベースを購入してください。
2. 以下に記す適切なネジを使用してください。ネジ長 = 5 mm + ベースの厚さ (H1)。M4 ネジ(P = 0.7)



- VESA ボルトのピッチ 75 x 75 mm
- VESA ベースの厚さ(H1)
- ネジ長 = 5 mm + ベースの厚さ(H1)
- M4 ネジ(P = 0.7)

4.5 アプリケーションソフトウェアのインストール

Lumens の画像ソフトウェアをインストールした後、以下の機能を使用することができます。

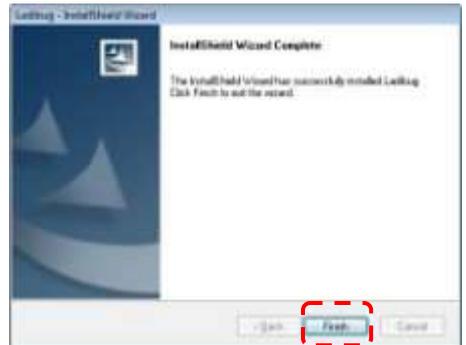
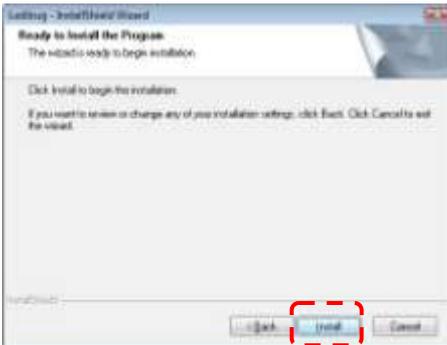
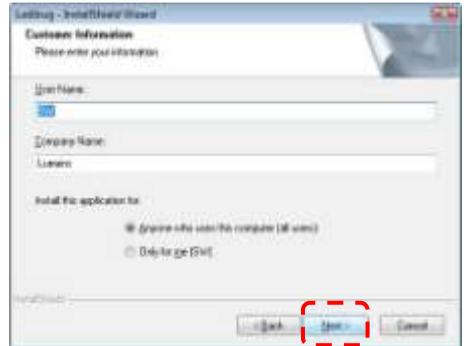
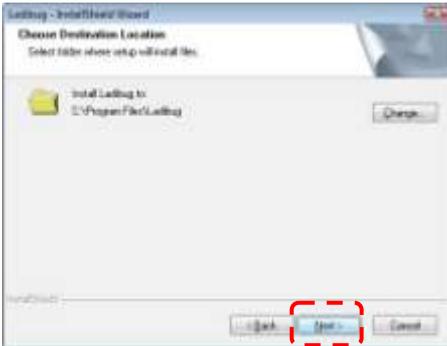
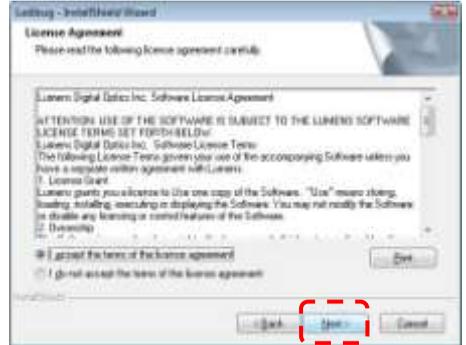
- DC120 のコントロール。
- 画像のキャプチャーおよび録画。
- 画像をアノテーションし、重要な部分を強調表示して保存します。
- 全画面機能をサポートします。

4.5.1 システム要件

Windows XP	Windows Vista / Windows 7	MAC OS X 10.4 / 10.5 / 10.6 / 10.7
<ul style="list-style-type: none">● CPU: P4 2.8 GHz 以上● メモリ: 512 MB● Direct x9 をサポート● 解像度: 1024 x 768● 最小限 100 MB の空きディスク容量● Windows XP SP2 およびそれ以降	<ul style="list-style-type: none">● 最小 CPU 要件: P4 2.8 GHz● 最小メモリ: 1 GB (32 ビット) / 2 GB (64 ビット)● Direct X 9 互換● 最小解像度: 1024 x 768● 最小限 100 MB の空きディスク容量	<ul style="list-style-type: none">● 最小 CPU 要件: PowerPC G4 866 MHz または Intel Pentium® 1.83 GHz Intel Core 2 Duor● 最小メモリ: 512 MB● 最小解像度: 1024 x 768● 24ビットカラーディスプレイモニタ● 最小限 1 GB の空きディスク容量● QuickTime 7.4.5 またはそれ以降

4.5.2 Windows XP/Vista でのインストール

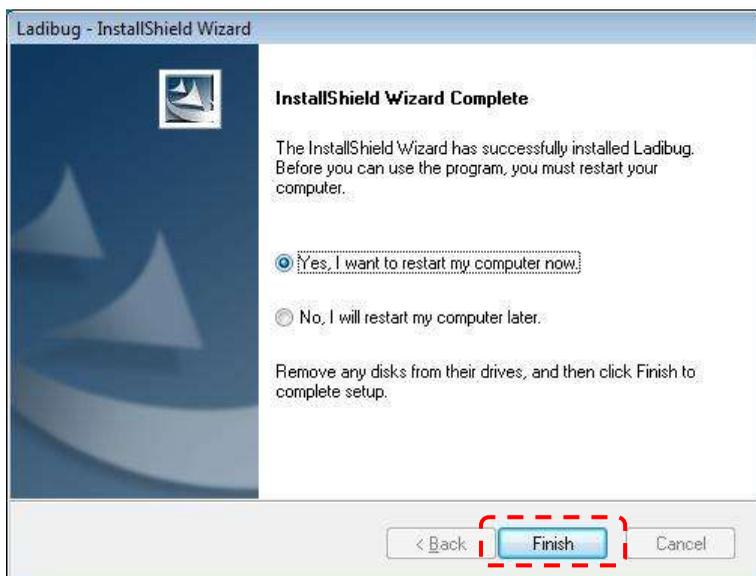
1. Lumens™ ウェブサイトにアクセス後、Ladibug™ ソフトウェアをダウンロードしてください。
2. ダウンロードされたファイルを解凍してから[Setup]ファイルをクリックします。
3. インストールウィザードがインストール作業の案内をします。画面の指示に従って、次の手順には[Next]をクリックします。



4. **[Yes]**をクリックして、デスクトップに Ladibug™ のショートカットを作成してください。

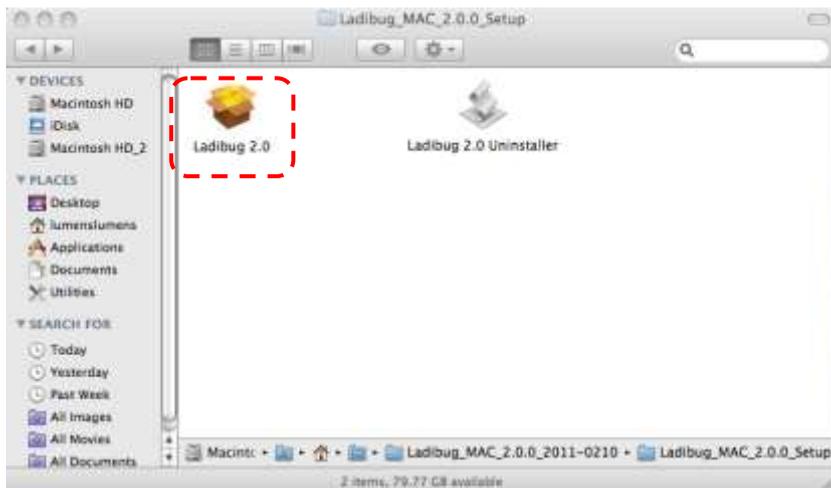


5. **[Finish]**ボタンをクリックして、システムを再起動させます。



4.5.3 MAC でのインストール

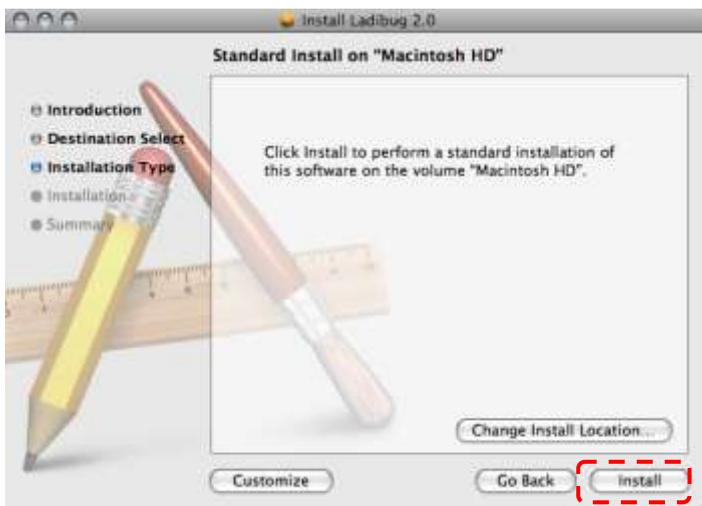
1. Lumens™ウェブサイトへアクセス後、Ladibug™ソフトウェアをダウンロードしてください。
2. ダウンロードファイルを解凍した後、[Ladibug]ファイルをクリックします。
3. 画面上の指示に従って、インストール手順を実行します。



4. [Continue]をクリックして続行します。



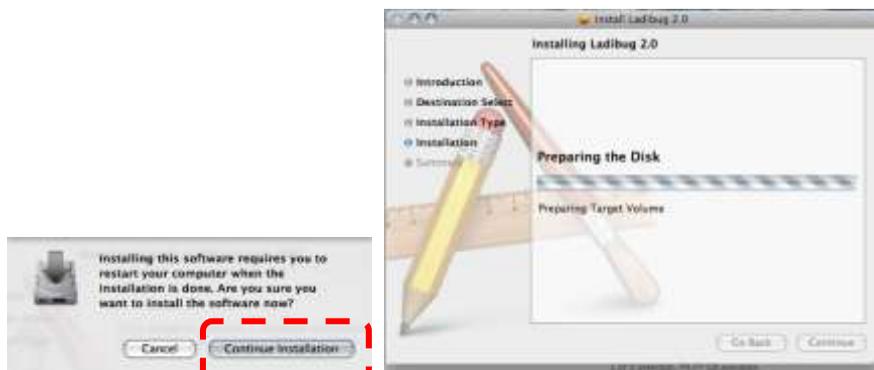
5. [Install]をクリックして続行します。



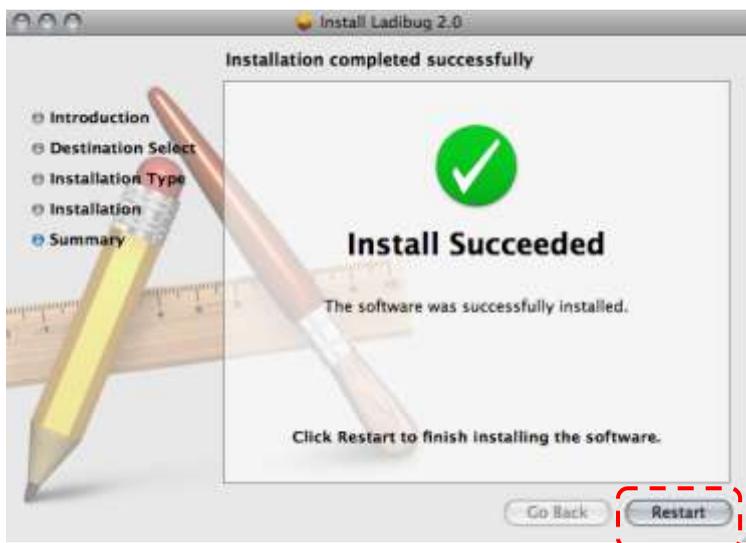
6. ご自分のユーザー名とパスワードを入力してから、[OK]をクリックします。



7. [Continue Installation]をクリックして続行します。

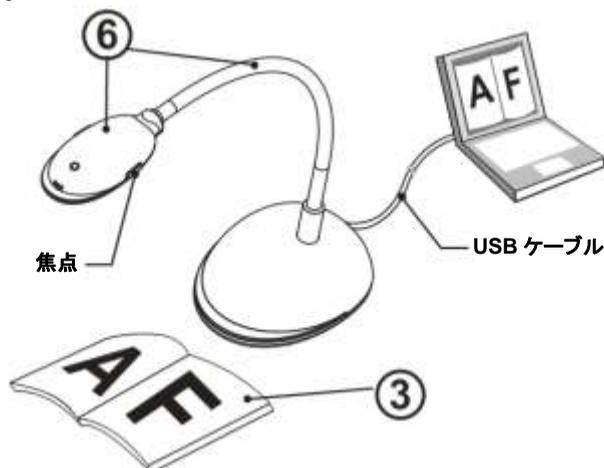


8. [Restart]をクリックすると、ソフトウェアのインストールは完了です。



第 5 章 使用の開始

<注>:最初に、USB ケーブルが接続されており、Ladibug™ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。このユーザーマニュアルの[第 4 章 設置と接続](#)を参照してください。



1. アイコンをダブルクリックして、Ladibug™ソフトウェアを開始します。
2. マウスを アイコンに移動すると、メイン機能メニューが表示されます。



3. 表示する物体をカメラの下に置きます。
4. [PREVIEW] を押して電源周波数設定ページを表示させ、設定のためのオンスクリーン手順に従ってください。設定が完成すると、ライブビデオが利用できます。(*この設定は、初回使用時のみ必要とされます。)
注: 電源周波数を設定する前に、その地域の電圧/周波数を確認することを勧めます。例えば、米国、台湾、日本などでは 60 Hz で、ヨーロッパやその他の地域では 50 Hz です。
5. ボタンをクリックして画像を最適化します。これで、授業やプレゼンテーションの準備ができました。
6. 必要に応じてグースネックを調節して、[FOCUS]ボタンをクリックします。
* カメラヘッドが移動するたびに、[FOCUS]ボタンをクリックしてレンズの焦点を合わせます。

第 6 章 機能メニュー

6.1 WINDOWS の場合

6.1.1 メイン機能メニュー



	電源のオン/オフ		ランプのオン/オフ
	画像最適化		ライブ画像のプレビュー
	録画フォーマットの設定		輝度
	メイン機能メニューを開始し、右ボタンをクリックしてソフトウェアに関する情報を表示します。		画像サイズを調節するには
	ライブ画像の焦点、写真/テキストモードなどを調節します。		高度機能メニュー
	現在の画像のフリーズ		アノテーションツール
	ソフトウェアを閉じる		タイマー
	現在の画像を録画します		画像キャプチャ

6.1.2 アノテーションツール



アイコン	機能の説明
	ポインタツール
	レーザーツール
	テキスト挿入
	直線の描画
	楕円の描画
	長方形の描画
	フリーハンド描画ツール
	イレーサ
	すべて消去
	色の選択
	線幅の選択

6.1.3 カメラ設定イン

カメラ設定インターフェースを介してライブ画像をコントロールします。



をクリックしてカメラ設定インターフェースを開きます。



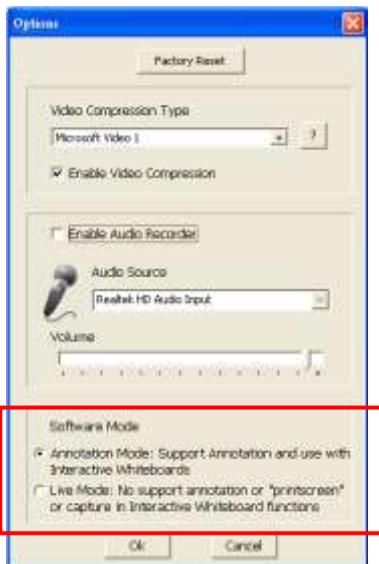
1. **オートフォーカス**: 物体までの焦点距離を自動的に調節します。
2. **焦点**: 物体までの焦点距離を手動で調節します。
3. **自動露出**: 設定オン/オフ。
4. **オートホワイトバランス**: 設定オン/オフ。
5. **回転**: 画像を 0/180 度だけ回転します。
6. **出力解像度**: 出力解像度を設定します。
7. **電源周波数**: 電源周波数は国によって異なる場合があります。使用前に電源周波数を確認してください。

<注> 電源周波数は、米国では一般的に 60 Hz ですが世界中の大部分の国では 50 Hz です。

6.1.4 オプション



をクリックしてオプションメニューを開きます。

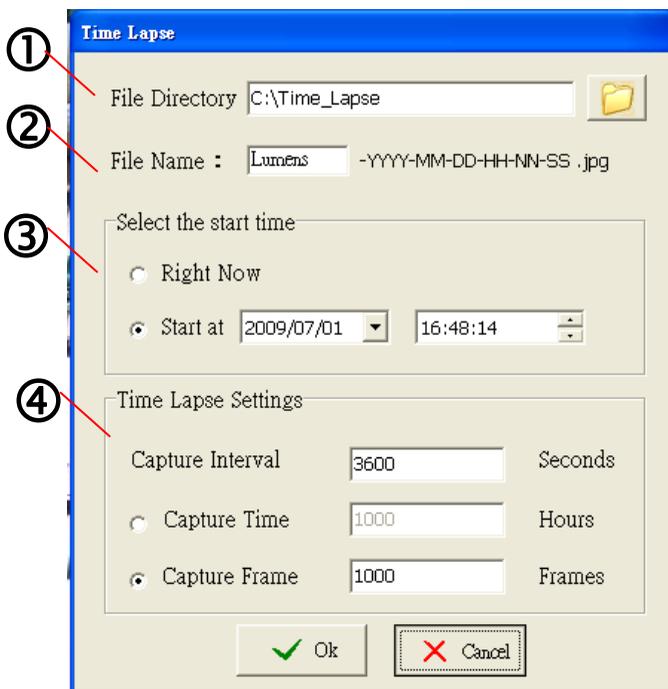


1. 工場出荷時設定へのリセット:工場出荷時へのリセットを有効にします。
2. ビデオ圧縮コーデックのフォーマット:ビデオフォーマットを設定します。
<注> 設定前に、[Enable Video Compress]を有効にする必要があります。
3. オーディオレコーダの有効化:オーディオレコーダ装置を有効にし、音源を設定します。

6.1.5 低速度撮影



をクリックして低速度撮影メニューを開きます。



1. デフォルトを変更するためのファイルディレクトリを選択します。
2. ファイル名を指定します。
3. スタート時間を設定します。
4. プリセットされた時間間隔で画像をキャプチャします。

6.2 MAC の場合

6.2.1 ソフトウェア画面の概要



1. ライブ画像
2. メインメニュー
3. サムネイルウィンドウ
4. ファイル管理機能メニュー

6.2.2 サムネイル



①

1. サムネイルの閉じ/開き
2. 保存ビデオまたはキャプチャ画像のサムネイル画像(ビデオの場合は  として表示されます)
3. 編集済みビデオの保存
4. 新しいファイルとしての保存
5. 保存フォルダの変更
6. ファイルの削除
7. Eメール経由のキャプチャ画像の送信

③

④

⑤

⑥

⑦

⑦

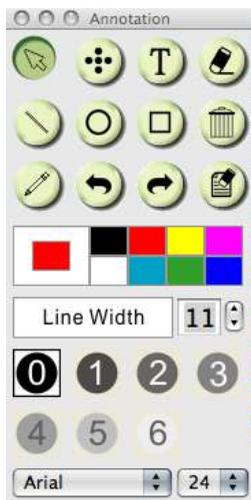
6.2.3 メイン機能メニュー



	電源: ドキュメントカメラのオン/オフ。		ランプ: ランプをオン/オフします。
	自動調整: 輝度およびフォーカス性能が最良になるように画像を自動的に調整します。		プレビュー: ライブ画像の表示。
	オプション: ビデオの圧縮方法および音源を選択します。 6.2.6 オプション では画面選択について説明しています。		輝度: 画像の輝度を手動で調整します。
	メイン: メイン機能メニューを起動します。このアイコンを右クリックして、Ladibug™に関する情報を表示します。		ズーム: 画像サイズを増減します。
	マスクモード: マスクモードを開きます。 8.8 マスクモードを使用したい を参照してください。		カメラの設定: カメラ設定ウィンドウを起動して、ライブ画像を調整します。 6.2.5 カメラ設定 では画面選択について説明しています。
	フリーズ: ライブ画像をフリーズします。		アノテーション: アノテーションツールを開きます。 6.2.4 アノテーション を参照してください。
	スポットライトモード: 強調モードを開きます。 8.9 スポットライトモードを使用したい を参照してください。		低速度撮影: バーストモードを使用し、自動画像キャプチャの時間間隔を調整します。 8.3 連続的に画像をキャプチャしたい を参照してください。
	録画: 現在の画像を録画します。		キャプチャ: 画像キャプチャ。

6.2.4 アノテーション

-  をクリックしてアノテーションツールを開きます。



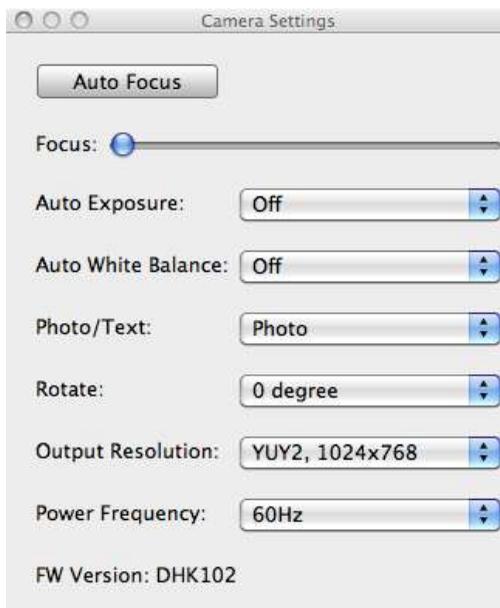
アイコン	説明
	ポインターツール
	レーザーツール
	テキスト挿入
	イレーサ(フリーハンド描画ツールのマークをクリアします)
	直線の描画
	楕円の描画
	長方形の描画
	削除
	フリーハンド描画ツール
	戻る
	次に進む
	すべて消去
	ペンの色の選択
Line Width 11	線の太さの選択
0 1 2 3 4 5 6	透明度の選択
Arial	フォントの選択
24	フォントサイズの選択

6.2.5 カメラ設定イン

カメラ設定インタフェースを介してライブ画像をコントロールします。



をクリックしてカメラ設定インタフェースを開きます。



1. **オートフォーカス:** 最良の焦点距離を自動的に調節します。
2. **焦点:** 物体までの焦点距離を手動で調節します。
3. **自動露出:** 設定オン/オフ。
4. **オートホワイトバランス:** 設定オン/オフ。
5. **回転:** 画像を 0/180 度だけ回転します。
6. **出力解像度:** 出力解像度を設定します。
7. **電源周波数:** 電源周波数は国によって異なる場合があります。使用前に電源周波数を確認してください。

<注釈> 電源周波数は、米国では一般的に 60 Hz ですが世界中の大部分の国では 50 Hz です。

6.2.6 オプション



をクリックしてオプションメニューを開きます。

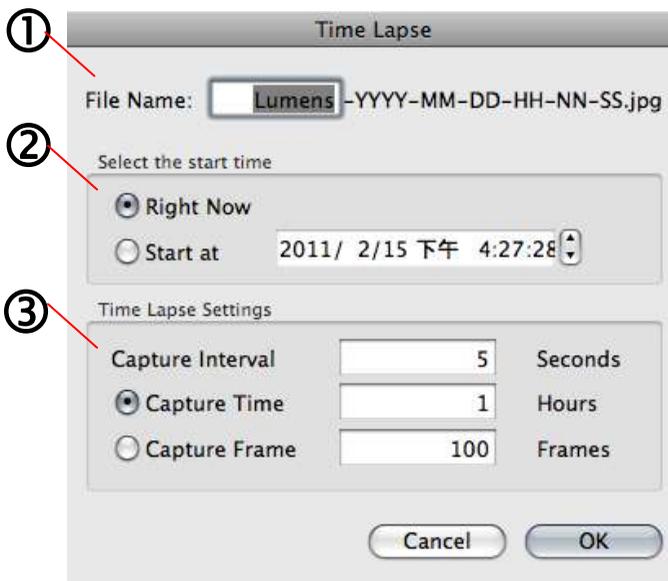


1. 工場出荷時設定へのリセット: 工場出荷時へのリセットを有効にします。
2. ビデオ圧縮タイプ: 録画フォーマットの設定。
3. オーディオレコーダの有効化: オーディオレコーダ装置を有効にし、音源を設定します。

6.2.7 低速度撮影



をクリックして低速度撮影メニューを開きます。



1. ファイル名を指定します。
2. スタート時間を設定します。
3. 時間間隔と画像キャプチャの時間の長さを設定します。

第 7 章 主要機能の説明— Windows の場合

7.1 ライブ画像を表示したい

1.  をクリックしてライブ画像を表示します。

7.2 画像を最適化したい

1.  をクリックします。

7.3 オートフォーカスを使用したい

1. メインユニットのカメラヘッド上に付いている AF ボタンをクリックします。

7.4 輝度を調節したい

1.  をクリックして輝度スクロールを表示します。
2. 上方に動かして輝度を上げる、または下方に動かして輝度を下げます。

7.5 ランプをオン/オフしたい

1.  をクリックしてランプをオン/オフします。

7.6 ズームイン/ズームアウトしたい

1.  をクリックして画像スクロールバーを表示します。
2. スクロールアップ/スクロールダウンして画像を拡大/縮小します。

7.7 画像をキャプチャしたい

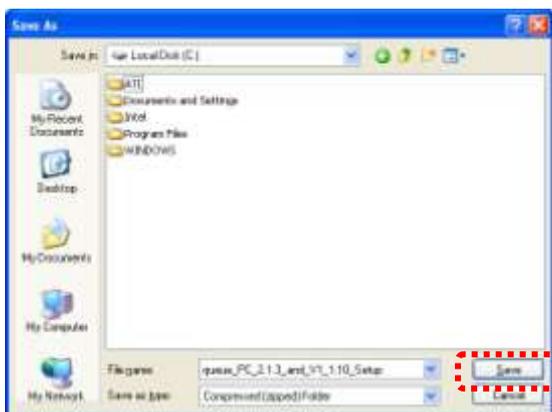
1.  をクリックして高機能メニューを表示します。
2.  をクリックして画像をキャプチャして保存します。

7.8 ビデオを録画したい

1.  をクリックして高機能メニューを表示します。
2.  をクリックして録画ツールを開始します。
<注釈>:  をクリックして、録画フォーマットや音声などの設定を変更します。
3. [Record]をクリックして「保存」ウインドウを表示します。



4. ファイル名の入力後、[Save]をクリックして録画を開始します。



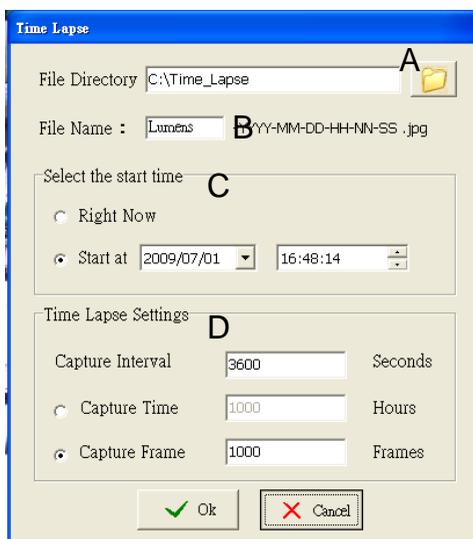
5. [Stop]をクリックして録画を停止します。



6.  をクリックして録画ツールを閉じます。

7.9 タイマーを設定したい

1.  をクリックして高機能メニューを表示します。
2.  をクリックして「低速度撮影」ウィンドウを表示させます。
 - A. ファイルディレクトリを設定します。
 - B. ファイル名を設定します。
 - C. 開始時間を設定します。
 - D. 低速度撮影を設定します。



3. [OK]をクリックして終了するとタイマーが有効になります。

7.10 画像をフリーズしたい

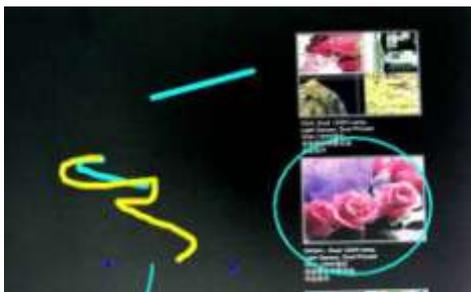
1. 画面上の現在の画像をフリーズするには  をクリックします。

7.11 ライブ画像をアノテーションしたい

1.  をクリックしてアノテーションツールを表示させます。



2. デフォルトは矢印ツール[Pointer]です。他のアノテーションツールを選択できます。
3. アノテーションツールの色  を選択します。
4. 線幅  を設定します。
5. ライブ画像にアノテーションを追加します。



- <注釈>:  をクリックしてアノテーションされた画像をキャプチャします。

7.12 ライブ画像にテキストを追加したい

1.  をクリックしてアノテーションツールを表示させます。
2. テキストツールを選択して[Text Tool]ウィンドウを表示させます。



3.  をクリックしてフォント、サイズ、および色を設定します。



4. テキストを入力した後、 をクリックします。

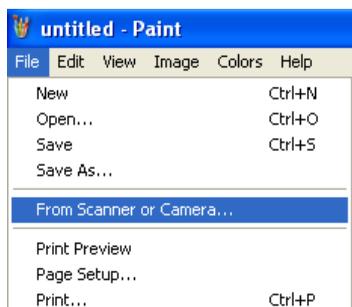
<注釈>:  をクリックしてテキスト画像をキャプチャします。

7.13 他のアプリケーションとの連携動作

7.13.1. MS-Paint に写真を挿入したい

<注釈>: Windows XP オペレーティングシステムのみをサポートします。

1. 左下部の図に示すとおり、MS-Paint で[File/From Scanner or Camera]をクリックします。

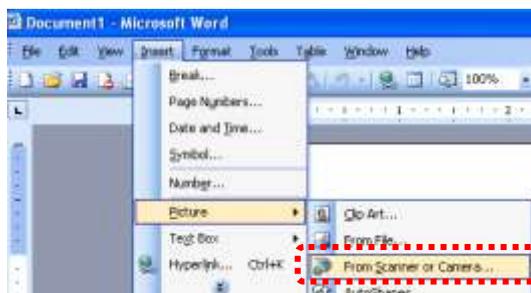


2. 右最上部の図に示すとおり、[Get Picture]をクリックすると、ライブ画像の写真がキャプチャされ、使用中のファイルが挿入されます。

7.13.2. MS-Word に写真を挿入したい

<注釈>: Windows Office 2003 以降のバージョンでは、OneNote で機能を使用してください。

1. **MS-Word** で[Insert/Image/From Scanner or Camera]をクリックします。



2. [USB Video Device #5]を選択して、[Custom Insert]をクリックします。



3. [Get Picture]をクリックします。ライブ画像の写真がキャプチャされます。



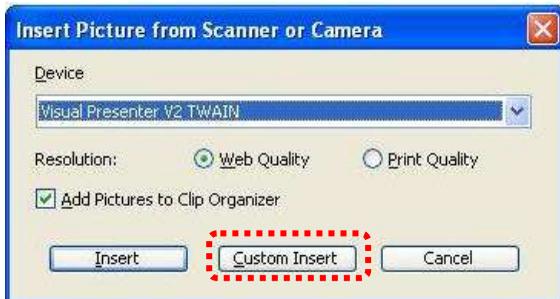
7.13.3. DC120 の設定を変更して、MS-Word で写真をキャプチャしたい

<Remark>:Windows Office 2003 以降のバージョンでは、OneNote で機能を使用してください。

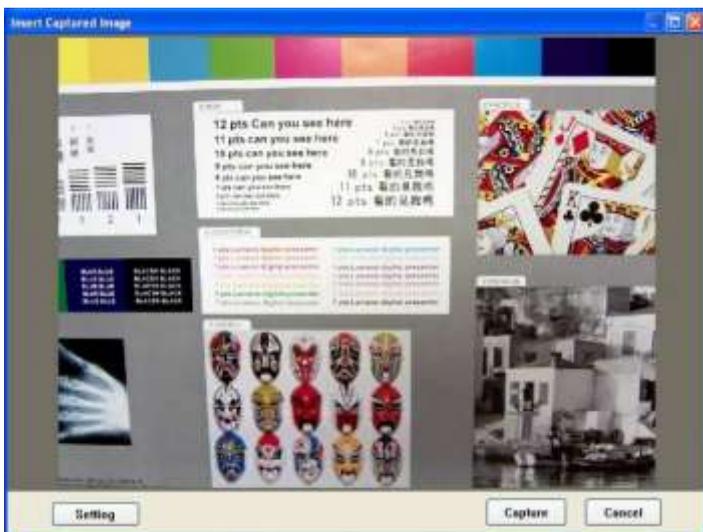
1. **MS-Word**で[Insert/Image/From Scanner or Camera]をクリックします。



2. [Lumens Document Camera TWAIN] を選択し、[Custom Insert]をクリックします。



3. ライブ画像を表示するウィンドウ(以下を参照)が表示されます。



4. [Setting]をクリックします。
Camera Settings(カメラ設定)ウィンドウがポップアップ表示されると、ライブ画像を調整することができます。
5. [Capture]をクリックし、**MS-Word** で画像をキャプチャします。
6. [Cancel]をクリックして終了します。

第 8 章 主要機能の説明— MAC の場合

8.1 ライブ画像を表示したい

-  をクリックしてライブ画像を表示します。

8.2 画像を最適化したい

- 1.  をクリックします。

8.3 オートフォーカスを使用したい

- 1. メインユニットのカメラヘッド上に付いている AF ボタンをクリックします。

8.4 輝度を調節したい

-  をクリックして輝度スクロールを表示します。
- 上方に動かして輝度を上げる、または下方に動かして輝度を下げます。

8.5 ランプをオン/オフしたい

-  をクリックしてランプをオン/オフします。

8.6 ズームイン/ズームアウトしたい

- 1.  をクリックして画像スクロールバーを表示します。
- 2. スクロールアップ/スクロールダウンして画像を拡大/縮小します。

8.7 画像をキャプチャしたい

-  をクリックして画像をキャプチャします。

[注] サムネイル領域にキャプチャ画像が表示されます。

8.8 画像を継続的にキャプチャしたい

-  をクリックしてバーストモード設定を開きます。設定後に[OK]をクリックします。

<注> 低速度撮影の設定について詳しくは、[6.2.7 低速度撮影](#)を参照してください。

<注> サムネイルウィンドウにキャプチャ画像が表示されます。

8.9 ライブ画像をフリーズしたい

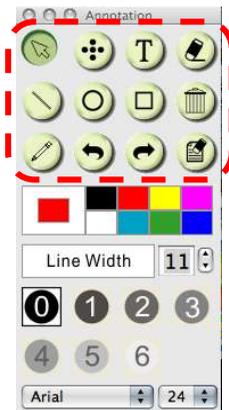
-  をクリックして Ladibug™のライブ画像をフリーズします。
- もう一度  をクリックしてフリーズを解除します。

8.10 表示された画像をアノテーションしたい

<注> 保存された画像をアノテーションするには、サムネイル領域の画像を開いてください。

-  をクリックしてアノテーションツールを開きます。

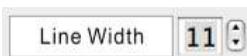
- アノテーションツールを選択します。



- ペンの色の選択。



- 線の太さの選択。



- 透明度の選択。



- 表示される画像にマークをつけるかアノテーションします。

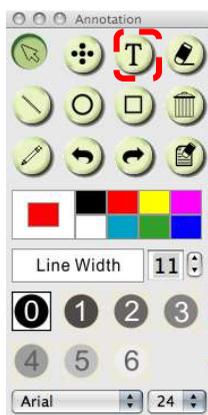


<注釈> ライブ画像の場合、 をクリックしてキャプチャすることができます。
サムネイルから開いた画像ファイルの場合、[SAVE]または[SAVE AS]
をクリックしてそのファイルを保存します。

<注釈> 録画時にアノテーションを追加できますが、保存することはできません。

8.11 文字によるアノテーションを画像に追加したい

-  をクリックしてアノテーションツールを開きます。



-  を選択します。

- ペンの色の選択。 

- 透明度の選択。 

- フォントおよびフォントサイズを選択します。



- 画像上のブロックをドラッグしてテキスト入力を開始します。



- <注釈> ライブ画像の場合、 をクリックしてキャプチャすることができます。画像ファイルの場合、[SAVE]または[SAVE AS]をクリックしてそれを保存することができます。

8.12ビデオを録画したい

-  をクリックして録画ツールを開きます。



- <注>  をクリックして、ビデオフォーマットおよび音源設定のインターフェースを開きます。詳しくは、[6.2.6 オプション](#)を参照してください。

-  をクリックして録画を開始します。

-  をクリックして録画を停止します。

-  をクリックして録画ツールを閉じます。

<注釈> 録画時にアノテーションを使用できますが、保存することはできません。

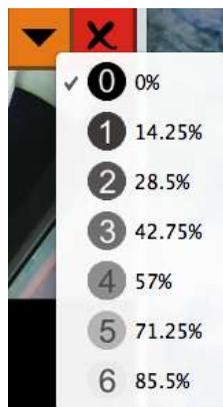
8.13 マスクモードを使用したい

-  をクリックしてマスクモードを開きます。

- ブロックの長さや幅を直接マウスで変更することができます。

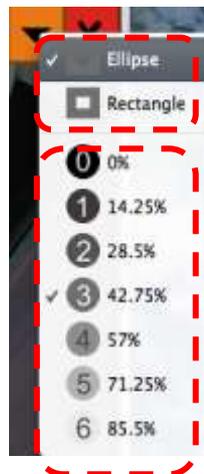
-  をクリックしてブロックの透明度を変更します。

-  をクリックしてマスクモードを閉じます。



8.14 スポットライトモードを使用したい

-  をクリックしてスポットライトモードを開きます。
- 長さや幅をマウスで変更します。
-  をクリックしてブロックの形と透明度を変更します。
-  をクリックしてスポットライトモードを閉じます。



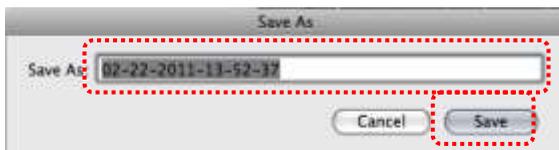
8.15 保存されたファイルを管理したい

8.15.1 新しいファイルとしての保存

- 最初に、画面の左側にある「サムネイル」ウィンドウ内の写真または画像ファイルをダブルクリックします。



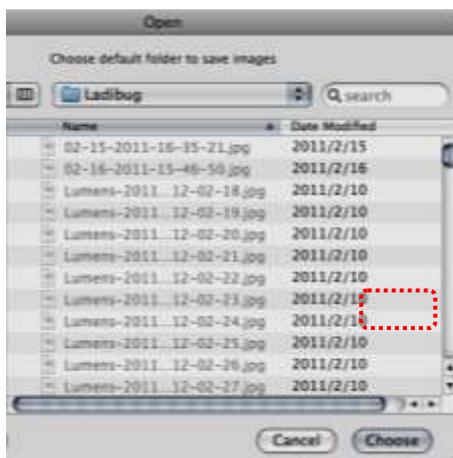
- [Save as]  をクリックすると、「名前を付けて保存」ウィンドウが表示されます。



- 「ファイル名」を入力後、[SAVE]をクリックして保存を終了します。

8.15.2 ファイルアクセス位置の変更

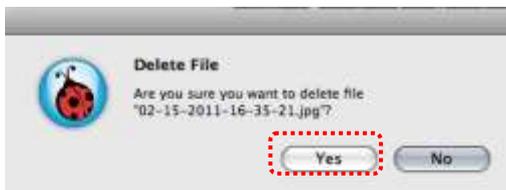
- [Directory]  をクリックすると、「開く」ウィンドウが表示されます。



- フォルダの位置を選択した後、[Choose]をクリックして、次に画像を選択するためのフォルダを変更します。

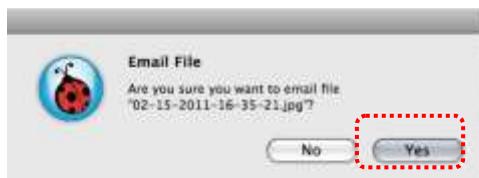
8.15.3 ファイルの削除

- 最初に、画面の左側にある「サムネイル」ウィンドウ内の写真をダブルクリックします。
- [Delete]  をクリックすると、「ファイル削除」ウィンドウが表示されます。ファイルを削除するには[Yes]をクリックします。



8.15.4 Eメール機能によるファイルの送信

- 最初に、画面の左側にある「サムネイル」ウィンドウ内の写真をダブルクリックします。
- [E-mail]  をクリックすると、「ファイルを E メールする」ウィンドウが表示されます。Eメールを開くには[Yes]をクリックします。



第 9 章 顕微鏡との接続

1. 顕微鏡アダプタを顕微鏡に取り付けます。
<注>: 適切な顕微鏡アダプタを選択してください。顕微鏡アダプタの付属品は $\phi 28$ mm の接眼レンズに適用できます。
2. DC120 のレンズを顕微鏡アダプタと接続します。



3. 画像が鮮明でない場合。
 - 3.1 メインユニットの DC120 カメラヘッド上に付いている[FOCUS]ボタンをクリックして、オートフォーカスを起動します。

第 10 章 トラブルシューティング

この章では、DC120を使用しているときに遭遇する問題について説明します。疑問がある場合は、関連する章を参照し、すべての推奨された解決法に従ってください。それでも問題が発生する場合は、販売業者またはサービスセンターにお問い合わせください。

番号	問題	解決方法
1	起動しても電源信号がない	USB ケーブルが接続されていることを確認してください。
2	焦点を合わせることができない	文書が近すぎる可能性があります。文書とレンズとの距離を離して、[FOCUS]をクリックします。
3	DC120 が正常に動作しない	コンピュータの前端にある USB ポートの電源が不十分なため、機器が正常に動作しない可能性があります。後端にある USB ポートまたは電源アダプタの付いた USB ハブに接続してみてください。
4	DC120 が識別されない	旧版または不完全な OS バージョンが DC120 のような USB デバイスを識別できない可能性があります。互換性のある Windows XP SP2 以降のバージョンを使用してください。
5	出力画面がちらついている	工場出荷時は、Ladibug™ の電圧/周波数の値は 60 Hz です。50 Hz の電圧/周波数が必要な国の場合、Ladibug™ を使用すると画面のちらつきが発生することがあります。 6.1.3 および 6.2.5 第 6 章の機能メニューのカメラ設定 を参照して電源周波数を 50 Hz に変更してください。
6	デジタルズームが無効	オプションをクリックして、ソフトウェアモードがアノテーションモードになっていることを確認してください。詳しくは、 6.1.4 第 6 章の機能メニューのオプション を参照してください。